

小学高学年 国語科学習指導（案）

平成25年7月30日（火）11時00分～11時25分（25分間）

日本言語技術教育学会北海道支部（赤平大会，みらい）

柳谷直明（日本言語技術教育学会北海道支部支部長）

- 1 大会テーマ 国語科「学習用語」指導で技術が育ち，子供が変わる
- 2 研究授業テーマ 学力向上を全員に保障する作文指導（小4～6年生用）
- 3 単元名 『PR作文を書こう』
- 4 教材名 「PR作文」（『作文カマスターカード』野口芳宏監修，柳谷直明・「鍛える国語教室」研究会，明治図書，2007，68-71ページ）
- 5 指導目標
 - (1) 書こうとすることの中心を明確にし，目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。ウ
 - (2) 文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。エ
 - (3) 収集した資料を効果的に使い，説明する文章などを書くこと。ウ
- 6 評価規準（「学習用語」の行為化による「言語活動の充実」。「学習用語」はゴシック体）
 - (1) **音読**のための「学習用語」の習得・活用——**発音，明瞭，例文，音読速度**（中学年は1分間で300字以上）。
 - (2) **視写**のための「学習用語」の習得・活用——**字下げ，改行，段落，簡条書き，記述速度**（中学年は1分間で30字以上）。
 - (3) **メモ**のための「学習用語」の習得・活用——**抽象，具体，詳述，簡潔，PR，結論，順番**。
 - (4) **PR作文**のための「学習用語」の習得——**口頭作文，文，文末，常体・敬体**。
- 7 指導計画（7時間扱い。本時4／7）

第1次 課題決定，調査・**発表**計画指導（「総合的な学習の時間」にて実施）

第1時 課題決定，調査・**発表**計画作成

第2～3時 課題調査

第2次 **PR作文**指導（国語にて実施）

第4時（本時） 「**PR作文**マスターカード」を用いた**音読，視写，メモ，記述**

第5時 点検，**校正，清書**

第3次 **PR作文**活用指導（「総合的な学習の時間」にて実施）

第6～7時 HPや学校**パンフレット**での**PR作文**活用

8 指導の実際（本時4／7）

8-1 本時の事項 本時で指導する「学習用語」

8-2 本時の展開

分	学習活動（発問・指示）	言語技術・評価，その他
0	10時50分には，会場入り口に待機。 10時55分入場。座る場所を会場係指定。 11時00分挨拶。	鉛筆3本だけを持たせる。消しゴムは持たせない。氏名は机の上に置く。保護者は前列に席を取る。教材は「マスターカード」だけ。
1	1 姿勢 腰骨を立てる立腰。話し手を見る視線。 2 意欲の喚起 これまで自分で決めた課題を解決するために調査してきた。自分の調べた内容を 発表 する PR作文 を書き，みんなに伝えよう。伝えたいでしょう。（今日は赤平とか，自分の学校とか，自分とか，家族の良さとかを紹介する PR作文 を書こう。やりたいか。）	1 姿勢 全員の立腰。全員の視線。教材の準備。 2 意欲の喚起 子供（の実態）に必要なから，この授業を行う。その必要性を子供に 説得 し，納得させてから言語活動を導入すると学習意欲を喚起できる。各教科等で言語活動を充実・活用できるように国語科で言語活動を経験・充実させる。そのために「学習用語」を習得させる。

分	学習活動（発問・指示）	言語技術・評価，その他
2	<p>3 音読習得</p> <p>作文が得意な人？ いない。では，今日は特別に先生が作った教材を上げよう。欲しいよね。はいどうぞ。「PR作文マスターカード1」を上にする。</p> <p>はっきりと明瞭な発音，1分間で300字の音読速度，68ページの例文は40秒以内が良い。「鉛筆の」から自分の速度で読む。始め。</p>	<p>3 音読指導</p> <p>発音，明瞭，例文，音読速度（中学年は1分間で300字以上）。※これらが「学習用語」。</p> <p>68ページの例文を40秒間で読めれば適正である。時間が有れば隣と口形を評価させる</p>
5	<p>4 視写習得</p> <p>原稿用紙のます目書き写して，早く書く練習をしよう。見て写すことを視写と言う。1分間で30字以上が良い記述速度だ。一ます空ける字下げ，行を変える改行で段落にする。一，二と書いて，箇条書きのように書く。「鉛筆のよさ」から書く。始め。もう一回。</p>	<p>4 視写指導</p> <p>字下げ，改行，段落，箇条書き，記述速度（中学年は1分間で30字以上）。</p> <p>3行まで書けていると大体30字を超える。</p>
10	<p>5 メモ習得</p> <p>右のメモを書き，左の文章を書いたのだ。ラベル欄へ抽象的に書き，その下のブランチ欄に具体的に詳述する。メモは短く簡潔に。裏にする。ラベル欄にPRする物，PR1，PR2，PR3，結論と書く。学校では，調べたことを発表すると良い。全員起立。今日はPRしたい物か事を今決める。赤平でも，学校でも，家族でも良い。決めたら座る。</p> <p>よし。良さをPR1の下に書く。短く簡潔に書く。いくつかずつ，どんどん書く。</p>	<p>5 メモ指導</p> <p>抽象，具体，詳述，簡潔，PR，結論，順番。</p> <p>メモは記述に時間が掛かる。だから，簡単に書かせて終える。本来は子供達にラベルや順番を考えさせる。ここでは，教えて進む。</p>
20	<p>6 記述習得</p> <p>右の原稿用紙に記述する。その前にどう書くかをメモだけで話してみよう。口頭作文と言う。書く順番決めだ。物か事が1，PR1が2，PR2が3，PR3が4，結論が5だよ。隣の人とじゃんけん。文の終わりの文末にですますを使う書き方を敬体，ですますを使わない書き方を常体と言う。赤平の良さを書きます。これは敬体。赤平の良さを書く。これは常体。そう。文章全部をどちらかに揃える。勝った人から文章にして読む。始め。</p>	<p>6 記述指導</p> <p>口頭作文，文，文末，常体・敬体。</p> <p>書かせる前にどのように書くかを考えさせる。そこで，メモから口頭作文という段階を経て原稿用紙に記述させる。いきなり記述させると書けない子はずっと書けない。口頭作文で発表できたか。10分間で300字以上を記述できたか。今回は少しでも書ければ良いと評価する。担任している学級では，1年生の3学期で10分間200字，3年生で10分間300字，5年生で10分間400字以上を書けるようになる。</p>
35	<p>8 授業作文での活用</p> <p>今日の学びを7分間で書く。黒板に書いてある「学習用語」を使う。書いた作文を隣同士で「学習用語」を使って，褒め合う。</p>	<p>8 授業作文指導</p> <p>書き出しとか記述指導での「学習用語」を反復・活用させる。「学習用語」を表現させ，習得を確かにさせ，活用させる。</p>

9 本時の評価

「学習用語」を指導し，表現させ，習得させたか。

No.14 PR作文マスターカード1

●音読カード

○年○月○日(○)

その「PR作文」例を音読する。(教師が「始め」と言う。一緒に読む。以下同じ)

鉛筆PR

鉛筆のよさを書く。

一 すぐに消すことができる。書き間違え

たとしても消しゴムで消すことができる。

二 折れても削って、また使える。短くな

るまで使える。

三 上手な字を書くことができる。筆圧の

強い字を書くことができる。強弱を表すこと

ができる。

このように鉛筆はとても便利だ。

★評価する。

40秒間音読に挑戦する。出来なければ、もう一度挑戦する。(出来たら差する。1つ25点だ。)

【形成学力】 1分間で300字の音読速度と1分間で30字の視写速度。

●視写カード1

一 左の「PR作文」例を1分間で視写する。「鉛筆の」から書く。書けない漢字は半倍も書く書いてもよい。1分間で三十字を目指す。

★評価する。

1分間で30字を超えたか。()字

練習ページ

年 組 番号

年 月 日 ()

●メモ・カード1

○年○月○日(○)

二 もう一度「PR作文」例の「鉛筆の」から視写する。1分間で三十字を目指す。一字くも増えたら何となく

三 ナンバリング順の数字、ラベル順とブランチ順のメモを音読する。左から右へ読む。

PR作文メモ	○○ ○○
1 よさ1	すぐに消すことができる
2 よさ2	折れても削ってまた使うことができる
3 よさ3	上手な字 書くことができる
4 結論	とても便利
5 PRする物	

★評価する。

1分間で30字を超えたか。()字

★評価する。

30秒間音読に挑戦する。出来なければ、もう一度挑戦する。

【学習用語】 PR, よさ, 結論

